

むかしあそび研究会だより

No.6 (2018年2月号)

発行責任者：会長 大澤貞男

◆ 12月～1月は、「ふれあいココロエイド神戸」への参加や小学校での学習支援活動など10回のボランティア活動と2回の道具づくり・研修会（会員対象）を行いました。

「ふれあいココロエイド神戸」に参加

12月9日（土）、北野工房のまち（中央区）で開催された「ふれあいココロエイド神戸」に参加しました。このイベントは、オレンジリボンキャンペーン（児童虐待防止運動）の一環として神戸市児童養護施設連盟が主催し今年で2回目です。

会場には、私達の「昔遊びブース」の他「バルーンアート」「スライムづくり」「缶バッチづくり」や自分で作ったゴム鉄砲で射的に挑戦する「射的ブース」など9つのブースがあり、会場全体が大変盛り上がり賑わっていました。

むかしあそび研究会は「手作りの昔遊び、伝承遊びの体験」をテーマに紙トンボ、ブンブンごま、折り紙ごま、あやとり、お手玉、けん玉を実施するとともに、紙飛行機大会用の良く飛ぶ飛行機4種類の制作指導も行いました。

開会挨拶の後と閉会式の前には演奏会があり、その時は全ブース休憩してスタッフも来場者と一緒に素敵な演奏を楽しみました。

紙飛行機大会は会場の真ん中を広く空けて舞台の上から飛ばして飛距離を競います。制作を指導した6人の会員は上手く飛ぶかハラハラドキドキ見学していました。

（来場者約150名、参加会員29名）



2018年の活動がスタート（高倉台幼稚園での昔遊び）

1月11日（木）、高倉台幼稚園（須磨区）で2018年の活動がスタートしました。

この日は園庭に氷が張る寒い朝でしたが、年長組園児66人が元気に参加。二組に分かれて、全員がこま回しと6種類の遊び（折り紙コマ、ぶんぶんごま、紙トンボ、はねかえる、あやとり、けん玉）の中から2種類の遊びを選び、あわせて3種類の遊びを楽しみました。



はじめの会で遊びの紹介を兼ねて会員が模範演技をすると園児は歓声を上げて見入り、自分たちも早く遊びたい様子。各教室に分かれて遊びが始まると園児は大喜びでそれぞれ習得に一生懸命で盛り上がりました。昼食と一緒に食べてからももっと教えてとせがまれ、13時まで時間を延長して一緒に遊びました。遊戯室が園児で一杯。途中から運動場で遊んでいた年中組さんもやって来て「来年は私達だよ」と言って興味深そうにこまに触れていました。幼稚園全体で昔遊びを楽しみにしてくれていることが良く判り、嬉しくなりました。(参加会員 14名)



カナディアンアカデミーで昔遊び

1月30日(火)、東灘区の六甲アイランドにあるカナディアンアカデミーで小学部1年生43人と一緒に昔遊びを楽しみました。

挨拶も子どもたちへの説明も英語が飛びかって最初は戸惑いでしたが、身振り手振り+片言の英語も交えて説明していると日本語のわかる子が翻訳してくれ、上手くできて「オーケー」と言いながら目と目を合わせた時の笑顔は万国共通、すぐに打ち解けて楽しく遊ぶことができました。

子どもたちはとても素直で、のびのびと育てられている様子がうかがえました。

昔遊びの時間が終わった後、ランチルームで子どもたちと一緒に昼ご飯を頂きました。ビュッヘ形式で子どもたちは自分で好きな料理と飲み物を好きなだけ選んでおり、なかには弁当持参の子もいて日本の公立学校との違いを感じました。

食後は、名ガイドが学校の中を案内してくれました。担任の先生が付いておられますが、説明はすべて3人の1年生。テキパキと分かりやすく説明してくれ、指示棒の使い方も手慣れた様子で日ごろから皆の前で話すことに慣れているように感じました。

(写真は学校からの提供。参加会員9名)



<この日実施した遊び>

- ・紙とんぼ
- ・はねがえる
- ・お手玉
- ・ブンブンごま
- ・折り紙ゴマ